

(個人)

(報告 田中)

山(山域・ルート) 恵那山(中央アルプス・広河原コース)

【日時】23年 9月14日(水) (泊 1日)

【メンバー】

田中 (計 1名)

【行動記録】

自宅2時43分発一川島I.C一八王子JCT一飯田I.C一臨時駐車場(7:24)一広河原登山口(7:48)一山頂(10:17)一非難小屋(10:27)一広河原登山口(12:39)一駐車場(13:03)
上り 3時間 下り 2時間15分

【装備・食料等】

携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、ツエルト
水(2.0リットル)、食事(朝・昼食)、行動食

【感想】

広河原コースから恵那山に登るには、中央道を園原I.Cで下りるべきなのだが、故障車の関係で手前の飯田I.Cで下りることになった。7月に雷雨の中、下見をしていたのだが、遠回りをして道がわからなくなり、出発時間が予定より遅れてしまった。しかし、天気は快晴に近く、気分も爽快だ。臨時駐車場にはすでに出発したハイカーの車も何台かあった。閉鎖されたゲートを開けて先の工事現場に向かう車両も5台ほどあった。20分ほど車道を歩くと、登山口が左手に現れる。少し下ると川を渡渉(丸木橋)し、その後は、危険箇所はない。道も両脇の笹がきれいに刈られていて歩きやすい。やがて周囲が開けてくると、左手に南アルプス全山が雲海の上に現れてきて、思っていた以上の眺望だ。後ろを振り返り、振り返り楽しみながら登っていくと、樹林帯に入り、あとはひたすら山頂を目指す。山頂に着くと、やはり何も見えない、展望台に登っても木が大きくなり過ぎて、意味のない構造物に変わりつつある。皇海山もそうであるが、日本百名山の名を拝領しているのなら、その山の到達点である山頂は、(自然を残すことも大事だが)、達成感を味わえる場所であって欲しいと思ってしまうのである。

恵那山(標高2,189.8m)

